

川島康治 さんを偲ぶ

お茶をたてる時の落ち着き、日本文化を愛されていた深さを気付かせます。運転席に座った時のラードライバーの集中力、車と一体化した姿を思い出させます。自分に厳しい時でも他人に手を差し伸べた康治さん今日、8月11日は誕生日ですね。心からおめでたい日なのにあなたがここにいないことは寂しいです。他者の痛みを自分のものとして受け入れ、アトピー患者の病状を和らげるシックハウス対策や愛知万博の環境にやさしい展示所づくりであろうか、岡崎市の善立寺の文化財保全と復元であろうか建築士として真のプロフェッショナルでしたね。自己紹介の番が回ってくると「建築士で国際ボランティア活動をやっている県職員の川島です」という言葉はプロの領域であなたの優先順位を表していました。家族に囲まれ、愛され強い責任感をもっていた人情深い友情に溢れた川島さんの生き方は模範でした。

康治さんがいなければ「自立のための道具の会」はもっと小さな出来事だったでしょう。会の副事務局長、事務局長を経て代表理事になった過程の中、数多くの道具職人を呼び寄せ、厳しい内戦の時でも毎年2回程度スリランカに道具を持ち運び最貧の村人に希望を与えました。ミニ水力発電所を古都キャンディの山奥で完成したのはあなたの計画性の功績です。小川の堰づくり担当、水路担当、電路担当と我々を専門的に班分けし五日間で発電所が出来上がったのは奇跡と言えるのかもしれないですね。電気がこの村に初めて流れ、長年黒闇で顔が見えずお参りをしていた村人がお釈迦様の顔が見えた瞬間の大きな喜びに感動して静かに涙を流していた康治さんを思い出します。あなたの背中を見て育てられたことに我々皆、心の底から感謝を申し上げます。インド、カンボジア、ブータン等に会の活動を広め、康治さんの熱意は我々の原動力でした。「自立のための道具の会」の皆を代表して、お礼申し上げます。道具に憧れ、職人を愛され、どんな取り組みであろうか最後まで責任をもって成し遂げる姿に我々は惚れました。居なくなった康治さんの後任選びは簡単ではないですが会として最大に相応しい人の任命に努めることをお誓いします。

この世に残された最愛の豊美さんをはじめご家族の皆様も今回の誕生日を祝えばと思っているでしょう。その家族を見守り続けてください。康治さんと最後の出会いを忘れられません。離れる準備をしていた静けさが今でも心に響く。その日、手を握り「糖尿病はどう」と相手の健康を気にするやさしさに言葉がでず頷いて片づけたことを覚えています。体が弱まっていたことは確かでしたが、あなたの御持て成しの心が家中に浸透していました。妻と私が和菓子とお茶を豊美さんから有難く頂きました。康治さんが残した思い出の豊かさが我々の心に刻み、永遠にあなたが生きています。速度制限がない世界でスピードを出しすぎないように安らぎを祈ります。誇りにしていた中部圏の言葉を借りて別れの挨拶をさせていただきます。康治さん、ご無礼します。

令和2年8月11日

「自立のための道具の会」会長

モンテ・カセム